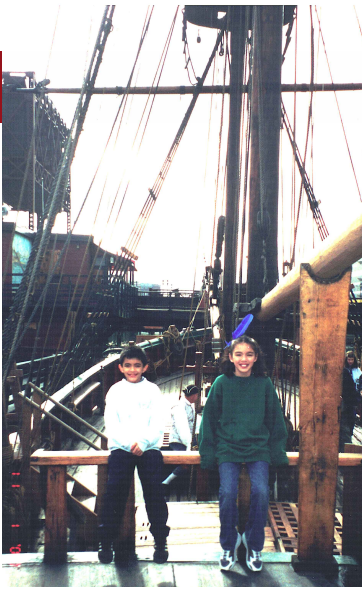


新番組： クリスチーンのアメリカ発見 ポストン篇



今日はポストンへ行きましょう。1620年。イギリスからメイフラワー号がイギリスからアメリカ大陸の東海岸に到着しました。ポストンの南東60数キロにあるプリマス港に百四人のピルグリムス・ファザー（清教徒）と呼ばれる人たちが新大陸で自分たちの理想社会を建設しようと決意したのです。こうして三本マストの帆船は65日の航海の末、アメリカ東海岸のプリマスに上陸したのですが、厳しい寒さと壊血病のために半数以上が亡くなってしまいました。

1773年12月。月明かりのポストン港。イギリス東インド会社所有の3隻の帆船が停泊しているところに一団の人影が船に近づき、船端の縄梯子を登り船の積荷をかまわずに海中へ投げ込んでしまったのです。積荷はインド洋から運ばれてきたお茶は342箱。金額で7万5千ドル。翌朝、ポストン港はお茶の葉で巨大な湖のようになっていました。この事件を人々は、ポストンのティ・パーティ（茶会）と呼ばれています。住民たちがこのような行動に出たのはイギリス本国が植民地に重税を課して搾取していることに抗議するため、これを機会に植民地側とイギリス側との合同会議が開かれ、アメリカ独立の方向へと大きく進んでいったのです。



トマス・ペインというイギリスのジャーナリストは「常識」とい記事の中でこう訴えました。「アメリカの母国はイギリスではない。一切の正しいものや合理的なものが分離を主張している。これまでに殺されたものの泣き叫ぶ声が「今こそ分離する時が来た」と訴えている。我々は、イギリスからは、破滅以外の何物をも期待することはできぬ。公然たる決定的な独立宣言ほどこの事件を速やかに解決できるものはない」この提言を聞いたジョージ・ワシントン大統領も「健全な主張で非のうちどころはない」とコメントしたと言われています。



新大陸に新しい国をつくりあげるためには次世代のリーダーを育成する学校を設立することが急務とされて創設されたのがハーバード大学でした。今も世界でもトップクラスの学力を誇っており、大統領を最も多く輩出しており、ジョン・F・ケネディもその一人です。ケンブリッジには、もうひとつの名門校マサチューセッツ工科大学があります。文化面でもスポーツや音楽が盛んで、メジャーリーグの名門チーム、ボストン・レッドソックスや世界的に有名なオーケストラ、ボストン交響楽団の本拠地ともなっています。最後は英語のひとくちレッスンです。州の名前は次のように省略されます。Connecticut: CT, New Hampshire: NH, Vermont: VT, Massachusetts: MA, Maine: ME, Rhode Island: RI, New York: NY, New Jersey: NJ, Philadelphia, Pennsylvania! それでは皆様、ごきげんよう Chao!!! 写真：ボストン博物館のクリスチーン（11歳）と弟のジェフ（9歳）

サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
3月05日	マリimbaの調べ（アンデスの歌ほか）	3月06日	聖書遊覧バス：出エジプト記：モーセ物語（11）
3月12日	女ばかり南米大陸に行く（2）	3月13日	リスナーからの「お便り交換の時間」
3月19日	クリスチーンのアメリカ発見！（ポストン）	3月20日	聖書遊覧バス：出エジプト記：モーセ物語（12）
3月26日	南米ふれあいの旅 梶村欣次（2）	3月27日	聖書遊覧バス：出エジプト記：モーセ物語（13）

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.reachbeyond.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3形式）

放送時間：日本時間 午前7時半~8時 15410kHz（再放送） 午後8時~8時半 11905kHz
（米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信）

